



# 第5回 イノベーション対話創出プログラム

## 研究計画書を作る

# 研究計画書をまとめよう

- 「研究」の意味
  - 未知の事柄について推論を確かめる
- 「研究計画」が求めること
  - 未知であることを示すには既知を示す
  - どのような推論かを示す
  - 推論が正しいことの証明方法を示す
  - 証明方法の評価方法を示す
  - 自分の実績により研究が遂行可能性を示す

# 千葉市医療を考える会新聞の 事業計画



## 1 目的

多世代の市民が交流できるためのツールとしての「千葉市医療を考えるタイムズ(参加型の新聞)」の内容の評価、配布方法の評価等を行い、今後の誌面作成及び配布等についての検討資料を作成する。

どこを修正すべきでしょう？

# 修正作業に入る前に確認しましょう

## 1 背景

医療や福祉のサービスをそれぞれの制度で対応するには、抜本的な制度変更がない限り行政の出来る事には限りがある

制度だけに頼らず、地域で補い合う力を持つ必要がある

地域で問題意識を共有し支えあう文化の醸成が求められる

しかし、医療や福祉に関係のない人たちが、これから千葉市の医療を考える場に即座に参加していくことは難しい

## 2 千葉市の医療を考える新聞の目的

多世代の市民が交流できるためのツールとしての「参加型の新聞」

# 修正作業に入る前に確認しましょう

## 1 背景

医療や福祉のサービスをそれぞれの制度で対応するには、抜本的な制度変更がない限り行政の出来る事には限りがある

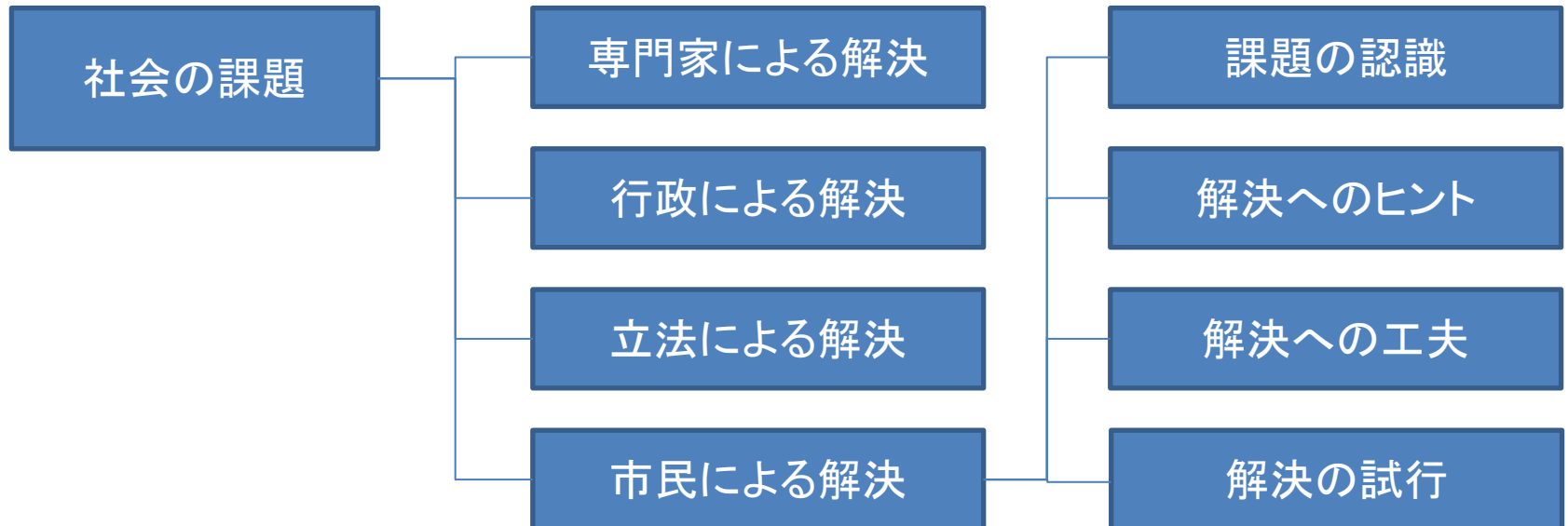
制度だけに頼らず、地域で補い合う力を持つ必要がある

地域で問題意識を共有し支えあう文化の醸成が求められる

しかし、医療や福祉に関係のない人たちが、これから千葉市の医療を考える場に即座に参加していくことは難しい

## 2 千葉市の医療を考える新聞の目的

多世代の市民が交流できるためのツールとしての「参加型の新聞」



# 医療・福祉の課題を抽出しよう

1. 課題の抽出 → ブレインストーミング
2. 課題の整理 → 親和図

# 市民へのアプローチ

- 市民とは誰か？

	特徴	情報伝達法
小学生		
中学生		
16-30		
30-50		
50-64		
65-74		
75-		

通常のアプローチ

↓

イノベのアプローチ

# アプローチの手法：新聞

- 新聞（紙媒体）の特徴と問題点を抽出しよう
- 親和図をつくろう
- ICTの特徴を記入しよう

ITで解決されたこと

ITで悪くなったこと



# 新聞の壁を越える

- 2×2の超越
  - ICTでも紙でも困難なことを考えよう
  - その打開策を考えよう
    - 取材方法
    - 記事の書き方
    - 配信方法
    - 記事の保存方法

# 研究計画書を書こう

1. 解決しようとする課題
  1. 誰が抱える課題か
  2. どのように困っているか
  3. 社会としての課題の大きさ
2. 解決へのアプローチ
  1. 試行したいアプローチ
  2. アプローチがなぜ有効と考えるのか
  3. 有効性をどのように測定するのか
  4. 研究成果をどこに発表するのか
3. アプローチの発展性
  1. 同じ分野での発展性
  2. 他の分野への応用性
4. 予算
  1. 必要な人材
  2. 必要な物資
  3. 必要な時期・期間